

平成27年度

シラバス

6年次 課題別講義



日本大学松戸歯学部

平成 27 年度 6 年次前期 課題別講義

実施時期：平成 27 年 4 月 1 日～6 月 30 日

一般目標(GIO)：臨床歯科医学における問題解決能力を養うために、歯科基礎医学的知識について修得する。

1. 方針

- 1) 基礎医学系分野の基礎的知識を修得することで、国家試験の主として必修領域、一部歯科医学総論領域に対応可能な問題解決能力を養う。
- 2) 臨床歯科医学分野については、問題演習(「臨床演習」)を通して、国家試験の必修、総論及び各論領域(臨床実地問題を含む)に対応可能な問題解決能力を養う。

2. 講義実施要項

- 1) 講義教室：400 教室
- 2) 講義時間：4 月は 8:40～9:30 (50 分間)、5、6 月は 8:40～10:30 (110 分間)
- 3) 講義時間内に当日の講義内容についてのチェックテスト(10 分程度、客観問題)を実施する。

3. 平常試験

MCQ 形式の試験とする。なお、平常試験の追試験は行わない。

	分野 (問題数)	合計	出題範囲
平常試験 1 (4/13)	解剖学 (5)、病理学 (5)、組織学 (5)、生理学 (5)、生化学 (5)、 歯科理工学 (5)、細菌・免疫学 (5)、薬理学 (5)、衛生学 (5)	45 題	期間①
平常試験 2* (4/27)	解剖学 (5)、病理学 (5)、組織学 (5)、生理学 (5)、生化学 (5)、 歯科理工学 (5)、細菌・免疫学 (5)、薬理学 (5)、衛生学 (5)	45 題	期間②
平常試験 3** (5/18)	解剖学 (10)、病理学 (10)、組織学 (10)、生理学 (10)、生化学 (5)、 歯科理工学 (10)、細菌・免疫学 (5)、薬理学 (10)、衛生学 (20)	90 題	期間③
平常試験 4 (6/1)	解剖学 (10)、病理学 (10)、組織学 (10)、生理学 (10)、生化学 (10)、 歯科理工学 (10)、細菌・免疫学 (10)、薬理学 (10)、衛生学 (20)	100 題	期間④
平常試験 5*** (6/15)	解剖学 (10)、病理学 (10)、組織学 (10)、生理学 (10)、生化学 (10)、 歯科理工学 (10)、細菌・免疫学 (10)、薬理学 (10)、衛生学 (20)	100 題	期間⑤

*臨床演習 1 と同日実施、**臨床演習 2 と同日実施、***臨床演習 3 と同日実施

4. 臨床演習

MCQ 形式の試験とする。なお、臨床演習の追試験は行わない。

	分野	一般問題数	臨床問題数	合計	試験内容
臨床演習 1* (4/27)	小児・矯正・障害者歯科、診断	5	5	30 題	第 102・103 回国試 改変問題
	保存（修復・歯内療法・歯周）	5	5		
	補綴（総義歯・局部床義歯・クラウンブリッジ）	5	5		
	口腔外科・麻酔・放射線・臨床検査	5	5		
臨床演習 2** (5/18)	小児・矯正・障害者歯科、診断	5	5	30 題	第 104・105 回国試 改変問題
	保存（修復・歯内療法・歯周病）	5	5		
	補綴（総義歯・局部床義歯・クラウンブリッジ）	5	5		
	口腔外科・麻酔・放射線・臨床検査	5	5		
臨床演習 3*** (6/15)	小児・矯正・障害者歯科、診断	5	5	30 題	第 106・107 回国試 改変問題
	保存（修復・歯内療法・歯周病）	5	5		
	補綴（総義歯・局部床義歯・クラウンブリッジ）	5	5		
	口腔外科・麻酔・放射線・臨床検査	5	5		

*平常試験 2 と同日実施、**平常試験 3 と同日実施、***平常試験 5 と同日実施

5. 総合試験

MCQ 形式の試験とする。なお、総合試験の追試験は行わない。

	分野(問題数)	合計	出題範囲
総合試験 (6/29)	解剖学 (10)、病理学 (10)、組織学 (10)、生理学 (10)、生化学 (10)、 歯科理工学 (10)、微生物・免疫学 (10)、薬理学 (10)、衛生学 (20)	100 題	期間①～⑤
	小児歯科・矯正歯科・障害者歯科・口腔診断 (10)	40 題	第 102～107 回国試 改変問題
	保存修復・歯内・歯周 (10)		
	総義歯・局部床義歯・クラウンブリッジ (10)		
	口腔外科・麻酔・放射線・臨床検査 (10)		

6. 評価

平常試験 1～5(40%)、臨床演習 1～3(20%)及び総合試験(40%)で算出した正答率が 70%以上の者を課題別講義の合格者とする。ただし、チェックテストの成績を加味する。

平成27年度 「課題別講義」日程表
出席確認8:35 講義8:40～ 会場400教室

月 日	曜	講義(試験)時間	分野	期間	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者
4月1日	水		ガイダンス			平 山 聡 司		
4月2日	木		衛生学①		歯科疾患の予防・管理①	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	田 口 千恵子
4月3日	金	8:40～9:30	細菌・免疫学①		感染と発症	落 合 智 子	微生物免疫学	栗 原 紀 子
4月4日	土		解剖学①		神経系総論	松 野 昌 展	解剖学Ⅰ	松 野 昌 展
4月6日	月		生化学①		生体を構成する基本物質	平 塚 浩 一	生化学・分子生物学	平 塚 浩 一
4月7日	火		組織学①		細胞および上皮組織の構造	岡 田 裕 之	解剖学Ⅱ	岡 田 裕 之
4月8日	水	8:40～9:30	薬理学①		薬物の保管・管理、臨床試験	松 本 裕 子	薬理学	松 本 裕 子
4月9日	木		歯科理工学①		歯科材料・歯科生体材料の基本的性質、応力-ひずみ曲線	谷 本 安 浩	歯科生体材料学	谷 本 安 浩
4月10日	金		生理学①		循環の生理	加 藤 治	生理学	加 藤 治
4月11日	土		病理学①		先天異常	宇都宮 忠 彦	口腔病理学	宇都宮 忠 彦
4月13日	月	8:40～9:25	平常試験1			平 山 聡 司		
4月14日	火		生化学②		エネルギー代謝とホメオスタシス	平 塚 浩 一	生化学・分子生物学	平 塚 浩 一
4月15日	水	8:40～9:30	衛生学②		歯科疾患の予防・管理②	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	田 口 千恵子
4月16日	木		細菌・免疫学②		滅菌と消毒	落 合 智 子	微生物免疫学	續 橋 治
4月17日	金		薬理学②		薬物の作用部位・作用機序	松 本 裕 子	薬理学	松 本 裕 子
4月18日	土		解剖学②		自律神経	松 野 昌 展	解剖学Ⅰ	松 野 昌 展
4月20日	月		病理学②		循環障害	宇都宮 忠 彦	口腔病理学	宇都宮 忠 彦
4月21日	火		組織学②		支持組織(結合組織、筋組織および神経組織)の構造	岡 田 裕 之	解剖学Ⅱ	岡 田 裕 之
4月22日	水	8:40～9:30	衛生学③		歯科疾患の予防・管理③	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	田 口 千恵子
4月23日	木		歯科理工学②		歯科材料・歯科生体材料の生物学的性質、義歯床用材料	谷 本 安 浩	歯科生体材料学	西 山 典 宏
4月24日	金		生理学②		呼吸の生理	加 藤 治	生理学	加 藤 治
4月25日	土							
4月27日	月	8:40～9:55	平常試験2・臨床演習1			平 山 聡 司		
4月28日	火	8:40～9:30	生化学③		細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーター	平 塚 浩 一	生化学・分子生物学	平 塚 浩 一
4月30日	木	8:40～9:30	細菌・免疫学③		自然免疫と獲得免疫	落 合 智 子	微生物免疫学	落 合 智 子
5月1日	金	8:40～10:30	薬理学③		抗感染薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン	松 本 裕 子	薬理学	松 本 裕 子
5月2日	土							
5月3日	日							
5月4日	月							
5月5日	火							
5月6日	水							
5月7日	木							
5月8日	金							
5月9日	土							
5月11日	月		病理学③		退行性病変・進行性病変	宇都宮 忠 彦	口腔病理学	宇都宮 忠 彦
5月12日	火	8:40～10:30	組織学③		骨組織と軟骨組織の構造、および血液の成分	岡 田 裕 之	解剖学Ⅱ	岡 田 裕 之
5月13日	水		衛生学④		保健医療総論①	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	有 川 景 崇
5月14日	木		歯科理工学③		印象材、合着・接着用材料、成形修復材料	谷 本 安 浩	歯科生体材料学	谷 本 安 浩
5月15日	金		生理学③		内分泌調節の生理	加 藤 治	生理学	加 藤 治
5月16日	土		解剖学③		頭蓋冠・頭蓋底	松 野 昌 展	解剖学Ⅰ	松 野 昌 展
5月18日	月	8:40～10:40	平常試験3・臨床演習2			平 山 聡 司		
5月19日	火	8:40～10:30	生化学④		染色体とタンパク質合成	平 塚 浩 一	生化学・分子生物学	平 塚 浩 一
5月20日	水		衛生学⑤		保健医療総論②	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	有 川 景 崇
5月21日	木		細菌・免疫学④		微生物と感染症	落 合 智 子	微生物免疫学	栗 原 紀 子
5月22日	金		衛生学⑥		保健医療総論③	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	有 川 景 崇
5月23日	土							
5月25日	月		解剖学④		骨と顎運動	松 野 昌 展	解剖学Ⅰ	松 野 昌 展
5月26日	火	8:40～10:30	組織学④		エナメル質、セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造	岡 田 裕 之	解剖学Ⅱ	岡 田 裕 之
5月27日	水		薬理学④		鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬	松 本 裕 子	薬理学	松 本 裕 子
5月28日	木		歯科理工学④		模型材、ワックス、鋳造の要点、埋没材	谷 本 安 浩	歯科生体材料学	谷 本 安 浩
5月29日	金		生理学④		神経の生理学	加 藤 治	生理学	加 藤 治
5月30日	土		病理学④		炎症	宇都宮 忠 彦	口腔病理学	宇都宮 忠 彦
6月1日	月	8:40～10:20	平常試験4			平 山 聡 司		
6月2日	火	8:40～10:30	生化学⑤		歯と歯周組織および唾液の構成成分	平 塚 浩 一	生化学・分子生物学	平 塚 浩 一
6月3日	水		衛生学⑦		健康管理・増進と予防①	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	後藤田 宏 也
6月4日	木		細菌・免疫学⑤		免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)	落 合 智 子	微生物免疫学	落 合 智 子
6月5日	金		薬理学⑤		適用法、薬物動態	松 本 裕 子	薬理学	松 本 裕 子
6月6日	土		解剖学⑤		脳神経の通路	松 野 昌 展	解剖学Ⅰ	松 野 昌 展
6月8日	月	8:40～10:30	病理学⑤		腫瘍・義歯	宇都宮 忠 彦	口腔病理学	宇都宮 忠 彦
6月9日	火		組織学⑤		口腔粘膜および唾液腺の構造	岡 田 裕 之	解剖学Ⅱ	岡 田 裕 之
6月10日	水		衛生学⑧		健康管理・増進と予防②	後藤田 宏 也	公衆予防歯科学	後藤田 宏 也

月 日	曜	講義(試験)時間	分野	期間	テーマ	オーガナイザー	担当講座	講義担当者
6月11日	木	8:40～10:30	歯科理工学⑤	⑤	陶材、陶材焼付用金属、レーザー、切削・研削・研磨材料	谷 本 安 浩	歯科生体材料科学	西 山 典 宏
6月12日	金		生理学⑤		興奮性細胞の生理学	加 藤 治	生理学	加 藤 治
6月13日	土							
6月15日	月	8:40～10:50	平常試験5・臨床演習3			平 山 聡 司		
6月16日	火							
6月17日	水							
6月18日	木							
6月19日	金							
6月20日	土							
6月22日	月							
6月23日	火							
6月24日	水							
6月25日	木							
6月26日	金							
6月27日	土							
6月29日	月	8:40～11:00	総合試験			平 山 聡 司		
6月30日	火	8:40～9:30	(総合講義6 ガイダンス)			(平 山 聡 司)		

講義日 時限
04月01日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： ガイダンス

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月02日	1時限	各論-I-1-ア 各論-I-1-イ 各論-I-1-ウ 各論-I-1-エ 各論-I-1-オ 各論-I-1-カ 各論-I-1-ク 各論-I-1-キ

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ①

授業の一般目標： 適切な健康管理，増進を行うために，齲蝕の予防・管理について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 齲蝕の病因について説明できる。
- 2) 齲蝕活動性試験・評価について説明できる。
- 3) 代用甘味料について説明できる。
- 4) 齲蝕の予防手段について説明できる。
- 5) フッ化物の応用について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月03日	1時限	総論-VI-6-ア 総論-VI-6-イ 総論-VI-6-エ

担当者 栗原 紀子

テーマ： 感染と発症

授業の一般目標： 微生物による感染症について理解するため、感染の成立から疾患を発症するまでの過程と病原因子について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 感染経路を説明できる。
- 2) 感染成立までの過程を説明できる。
- 3) 感染の種類を説明できる。
- 4) 病原因子を説明できる。
- 5) 細菌性食中毒を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月04日	1時限	総論-III-2-キ 必修-6-ア-e

担当者 松野 昌展

テーマ： 神経系総論

授業の一般目標： 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために、神経系の概要を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 中枢神経の区分と機能を説明できる。
- 2) 末梢神経の構造的、機能的区分を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月06日	1時限	総論-Ⅲ-1-ア 必修-6-ア-b 必修-6-ア-d 総論-Ⅲ-1-ア 総論-Ⅲ-1-イ

担当者 平塚 浩一

テーマ： 生体を構成する基本物質

授業の一般目標： 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。
- 2) 炭水化物の種類と特徴を説明できる。
- 3) 脂質の構造と特徴を説明できる。
- 4) ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月07日	1時限	必修-6-ア-b 必修-6-ア-c 総論-Ⅲ-1-イ 総論-Ⅲ-1-オ

担当者 岡田 裕之

テーマ： 細胞および上皮組織の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、細胞と上皮組織の構造について習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 真核細胞の構造を説明できる。
- 2) 核の構造を説明できる。
- 3) 細胞小器官を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 4) 細胞死の種類を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- 5) 上皮細胞の分類し、それぞれの構造学的特徴と主な存在部位について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月08日	1時限	必修-15-h-k 総論-X-9-ツ 総論-X-9-テ

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬物の保管・管理、臨床試験

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬物の保管・管理、臨床試験に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 薬物の管理について説明できる。
- 2) 臨床試験について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月09日	1時限	必修-15-m-a 総論-XI-1-オ 総論-XI-1-カ

担当者 谷本 安浩

テーマ： 歯科材料・歯科生体材料の物理的および力学的性質、応力-ひずみ曲線

授業の一般目標： 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの物理的および力学的性質について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の種類と性質について説明できる。
- 2) 歯科生体材料の物理的および力学的性質について説明できる。
- 3) 応力-ひずみ曲線について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月10日	1時限	総論-Ⅲ-2-エ 必修-6-ア-e

担当者 加藤 治

テーマ： 循環の生理

授業の一般目標： 血圧調節機構を理解するために心臓と血管の構造，および機能を学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) 心臓の構造と機能を説明できる。
- 2) 弾性血管の機能を説明できる。
- 3) 最高血圧と最低血圧の意味を説明できる。
- 4) 血圧の調節機構を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月11日	1時限	必修-14-ア-b 必修-14-イ-h 総論-VI-11-ア 総論-VI-11-ケ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 先天異常・奇形

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、先天異常及び奇形に関する病理学的知識について学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 先天異常を分類できる。
- 2) 遺伝障害について説明できる。
- 3) 胎児障害について説明できる。
- 4) 奇形の成り立ちについて説明できる。
- 5) 口腔・顎・顔面領域の代表的な先天性疾患の特徴について説明できる。

講義日 時限
04月13日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験 1

=====

講義日 時限 国試出題基準
04月14日 1時限 総論-Ⅲ-1-ア

担当者 平塚 浩一

テーマ： エネルギー代謝とホメオスタシス

授業の一般目標： 身体の調節機構を理解するために、エネルギー代謝とホメオスタシスを学ぶ。

到達目標 SBOs：

- 1) エネルギー代謝経路を説明できる。
- 2) 脱アミノ反応、 β 酸化、オルニチン回路を説明できる。
- 3) 酵素の特徴を説明できる。
- 4) 血糖値の調節と血中カルシウム濃度の調節を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準				
04月15日	1時限	各論-I-2-イ	各論-I-2-ア	各論-I-2-ウ	各論-I-2-エ	各論-I-2-オ
		各論-I-2-カ	各論-I-3-ア	各論-I-3-イ		

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ②

授業の一般目標： 健康管理を行うために、歯周疾患，不正咬合の予防・管理について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 歯周疾患のリスクファクターと診断について説明できる。
- 2) 歯周疾患と生活習慣病について説明できる。
- 3) 歯周疾患の予防方法について説明できる。
- 4) 歯周疾患の疫学指標について説明できる。
- 5) 不正咬合の予防方法について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月16日	1時限	必修-1 5-ク-a 総論-II-1 1-イ

担当者 續橋 治

テーマ： 滅菌と消毒

授業の一般目標： 感染防御について理解するために、滅菌と消毒および化学療法について学習する。

到達目標 S B O s：

- 1) 滅菌と消毒の違いを説明できる。
- 2) 滅菌の種類と方法を説明できる。
- 3) 消毒の種類と適応を説明できる。
- 4) 化学療法の目的を説明できる。
- 5) 微生物に対する化学療法薬の作用機序を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月17日	1時限	必修-15-h-e 総論-X-9-オ

担当者 松本 裕子

テーマ： 薬物の作用部位・作用機序

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、薬物の作用部位・作用機序に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 受容体を介する作用を説明できる。
- 2) 受容体を介さない作用を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月18日	1時限	総論-III-2-キ 総論-IV-1-エ

担当者 松野 昌展

テーマ： 自律神経

授業の一般目標： 末梢神経の構造と自律神経の分布の特徴を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 神経節の意味を説明できる。
- 2) 脳神経核を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月20日	1時限	必修-14-A-h 必修-9-A-a 総論-VI-4-A 総論-VI-4-イ 総論-VI-4-ウ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 循環障害

授業の一般目標： 病因と病態を理解するために、循環障害に関する病理学的知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 循環血液量の異常を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。
- 2) 閉塞性循環障害を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。
- 3) ショックの分類と病理学的特徴について述べるができる。
- 4) 側副循環の異常について解説できる。
- 5) 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月21日	1時限	必修-6-A-c 総論-III-1-カ

担当者 岡田 裕之

テーマ： 支持組織（結合組織，筋組織および神経組織）の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、支持組織における結合組織，筋組織および神経組織の構造について習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 結合組織の分類を説明できる。
- 2) 結合組織を構成する線維を説明できる。
- 3) 結合組織に存在する細胞を説明できる。
- 4) 筋組織を分類し、それぞれの構造学的特徴を説明できる。
- 5) 神経組織の構造を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月22日	1時限	各論-I-6-カ 必修-3-ケ-b 必修-3-ケ-c 必修-3-コ-a 必修-3-コ-b

担当者 田口 千恵子

テーマ： 歯科疾患の予防・管理 ③

授業の一般目標： 健康管理を行うために、歯・口腔の清潔、機能・育成について理解できる。

到達目標SBOs：

- 1) 歯の沈着物について説明できる。
- 2) 唾液の作用について説明できる。
- 3) 口腔ケアについて説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月23日	1時限	必修-15-マ-a 総論-XI-1-キ 総論-XI-1-ク 総論-XI-9-ア 総論-XI-9-イ 総論-XI-9-ウ 総論-XI-9-エ 総論-XI-9-オ

担当者 西山 典宏

テーマ： 歯科材料・歯科生体材料の化学的および生物学的性質、義歯床用材料

授業の一般目標： 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの化学的および生物学的性質、義歯床用材料について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科生体材料の化学的および生物学的性質、生体安全性について説明できる。
- 2) 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 3) 義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。
- 4) 義歯床用裏装材の種類、組成および性質について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
04月24日	1時限	総論-Ⅲ-2-ウ 必修-6-ア-e

担当者 加藤 治

テーマ： 呼吸の生理

授業の一般目標： 呼吸調節を理解するために呼吸器の構造とガス運搬について学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) 呼吸器の構造と運動を説明できる
- 2) ヘモグロビン酸素解離曲線の意義を説明できる。
- 3) 二酸化炭素の排泄とpHの関係について説明できる。

=====

講義日	時限
04月27日	1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験2・臨床演習1

講義日	時限	国試出題基準
04月28日	1時限	総論-Ⅲ-1-ウ 必修-6-ア-d 総論-VI-5-エ

担当者 平塚 浩一

テーマ： 細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーター

授業の一般目標： 細胞の情報伝達と炎症の発症を理解するために、細胞外基質と炎症性ケミカルメディエーターの種類と特徴を学ぶ。

到達目標 SBOs：

- 1) 細胞外基質を列举できる。
- 2) 細胞接着配列を説明できる。
- 3) コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。
- 4) コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。
- 5) MMPの種類と特徴を説明できる。
- 6) 炎症性ケミカルメディエーターの種類を列举できる。
- 7) アミン類やキニン類の合成と特徴を説明できる。
- 8) サイトカインの定義と種類を説明できる。
- 9) エイコサノイドおよびPAFの合成を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
04月30日	1時限	必修-6-ア-f 総論-Ⅲ-3-ア 総論-Ⅲ-3-イ 総論-Ⅲ-3-ウ 総論-Ⅲ-3-エ

担当者 落合 智子

テーマ： 自然免疫と獲得免疫

授業の一般目標： 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の概要に関する知識を修得する。

到達目標 SBOs：

- 1) 免疫担当臓器、細胞について説明できる。
- 2) 自然免疫について説明できる。
- 3) 獲得免疫について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月01日	1時限	総論-X-9-ス 総論-X-9-セ 総論-X-9-ソ

担当者 松本 裕子

テーマ： 抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、抗感染症薬、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに関する知識を習得する。

到達目標 S B O s :

- 1) 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬を列举し、作用機序、副作用を説明できる。
- 2) 消毒薬を列举し、作用機序、副作用を説明できる。
- 3) 抗腫瘍薬を列举し、作用機序、副作用を説明できる。
- 4) ビタミンを列举し、作用機序、副作用を説明できる。
- 5) 硬組織代謝改善治療薬を列举し、作用機序、副作用を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月11日	1時限	必修-14-A-i 必修-14-A-c 必修-14-A-j 総論-VI-2-A 総論-VI-2-I 総論-VI-2-U 総論-VI-3-I 総論-VI-3-U

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 退行性病変・進行性病変

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、退行性病変及び進行性病変に関する病理学的知識について学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 萎縮、壊死(ネクロシス)、壊疽及びアポトーシスについて説明できる。
- 2) 変性を分類し、その特徴と代表的疾患について解説できる。
- 3) 代謝障害とその代表的疾患について説明できる。
- 4) 肥大、過形成(増生)、化生について分類し、説明できる。
- 5) 再生の基本について解説できる。
- 6) 創傷治癒と異物処理について解説できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月12日	1時限	必修-6-ア-c 総論-Ⅲ-1-カ

担当者 岡田 裕之

テーマ： 骨組織と軟骨組織の構造，および血液の成分

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために，支持組織における骨組織と軟骨組織の構造，および血液の成分について習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 骨組織に存在する細胞を列挙し，その構造と特徴を説明できる。
- 2) 骨組織の基本構造について説明できる。
- 3) 骨改造現象について説明できる。
- 4) 軟骨組織を分類し，その構造学的特徴と主な存在部位を説明できる。
- 5) 血液の成分を列挙し，それぞれの特徴を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月13日	1時限	必修-2-ア-a 総論-I-1-ア 総論-I-4-ア 総論-I-4-エ

担当者 有川 量崇

テーマ： 保健医療総論①

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 健康の概念について説明できる。
- 2) ヘルスプロモーションについて説明できる。
- 3) プライマリーヘルスケアについて説明できる。
- 4) 疾病の自然史と対応について説明できる。
- 5) 地域保健法について説明できる。
- 6) 健康増進法について説明できる。
- 7) 高齢者の医療の確保に関する法律を説明できる。
- 8) 食育基本法について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月14日	1時限	必修-15-マ-b 必修-15-マ-e 必修-15-マ-d

担当者 谷本 安浩

テーマ： 印象材、合着・接着用材料、成形修復材料

授業の一般目標： 印象材、合着・接着用材料および成形修復材料を理解するために、それらの基本的性質について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 印象材の種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 3) 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月15日	1時限	総論-Ⅲ-2-ケ 必修-6-ア-e

担当者 加藤 治

テーマ： 内分泌調節の生理

授業の一般目標： 生体の体液性調節を理解するために、内分泌臓器とその機能について学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 内分泌臓器を説明できる。
- 2) ホルモンの種類と特徴を説明できる。
- 3) 血糖値調節を説明できる。
- 4) 血中カルシウム調節を説明できる。
- 5) 体液量調節を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月16日	1時限	必修-6-イ-e 総論-IV-1-ア

担当者 松野 昌展

テーマ： 頭蓋冠・頭蓋底

授業の一般目標： 頭蓋骨の構造を理解するために頭蓋冠、頭蓋底を構成する各骨を説明できる。

到達目標 S B O s：

- 1) 頭蓋冠の構造を説明できる。
- 2) 蝶形骨の構造を説明できる。
- 3) 側頭骨の構造を説明できる。
- 4) 後頭骨の構造を説明できる。
- 5) 篩骨の構造を説明できる。
- 6) 前頭骨の構造を説明できる。

=====

講義日	時限
05月18日	1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験3・臨床演習2

講義日	時限	国試出題基準
05月19日	1時限	総論-Ⅲ-1-エ 必修-6-ア-a

担当者 平塚 浩一

テーマ： 染色体とタンパク質合成

授業の一般目標： 染色体構造や遺伝情報の流れを理解するために、染色体・遺伝子の基本構造とDNAの複製およびタンパク質合成機序を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 染色体の構成成分を説明できる。
- 2) テロメアを説明できる。
- 3) 核酸の種類と構造を説明できる。
- 4) 遺伝子の構造を説明できる。
- 5) 遺伝子の転写・複製を説明できる。
- 6) 翻訳後修飾を説明できる。
- 7) ストレスタンパク質とユビキチンを説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月20日	1時限	総論-I-2-ウ 総論-I-6-ア 総論-I-6-イ

担当者 有川 量崇

テーマ： 保健医療総論②

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標 S B O s :

- 1) 社会保障制度について説明できる。
- 2) 医療保険制度について説明できる。
- 3) 介護保険制度について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月21日	1時限	総論-VI-6-イ 総論-VI-6-エ

担当者 栗原 紀子

テーマ： 微生物と感染症

授業の一般目標： 微生物感染症について理解するために、感染症の種類と起因する微生物について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる
- 2) ウイルス感染症の種類と起因するウイルスを説明できる。
- 3) 真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月22日	1時限	総論-I-2-ア 総論-I-3-オ 総論-I-3-ク

担当者 有川 量崇

テーマ： 保健医療総論③

授業の一般目標： 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科医師法について説明できる。
- 2) 医療関係職種について説明できる。
- 3) 医療法について説明できる。
- 4) 歯科口腔保健の推進に関する法律について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月25日	1時限	必修-6-イ-e 総論-IV-1-ア 総論-IV-1-イ 必修-6-イ-d

担当者 松野 昌展

テーマ： 頭蓋骨・顎運動

授業の一般目標： 頭蓋骨の構造と顎運動を理解するために、顎骨の構造と筋の付着部を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1) 上顎骨の構造を説明できる。
- 2) 口蓋骨の構造を説明できる。
- 3) 下顎骨の構造を説明できる。
- 4) 咀嚼筋の構造を説明できる。
- 5) 舌骨上筋群の構造を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月26日	1時限	必修-6-ウ-c 総論-IV-4-ウ 総論-IV-4-エ 総論-IV-4-オ

担当者 岡田 裕之

テーマ： エナメル質，セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために，エナメル質，セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) エナメル質，セメント質，象牙質および歯髄の性質および構造を説明できる。
- 2) エナメル質，セメント質および象牙質の成長線を説明できる。
- 3) エナメル質，セメント質，象牙質および歯髄の加齢変化を説明できる。
- 4) 象牙質・歯髄複合体の考え方を説明できる。
- 5) 歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月27日	1時限	総論-X-9-サ 総論-X-9-シ 総論-X-9-タ

担当者 松本 裕子

テーマ： 鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、鎮痛薬、抗炎症薬、止血薬、抗血栓薬に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1) 麻薬性・非麻薬性鎮痛薬を列挙し，作用機序，副作用を説明できる。
- 2) ステロイド性抗炎症薬を列挙し，作用機序，副作用を説明できる。
- 3) 非ステロイド性抗炎症薬を列挙し，作用機序，副作用を説明できる。
- 4) 抗アレルギー薬を列挙し，作用機序，副作用を説明できる。
- 5) 止血薬，抗血栓薬を列挙し，作用機序，副作用を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月28日	1時限	必修-15-マ-c 総論-XI-6-ア 総論-XI-12-ア 総論-XI-12-イ 総論-XI-12-エ 総論-XI-12-オ

担当者 谷本 安浩

テーマ： 模型材、ワックス、鑄造の要点、埋没材

授業の一般目標： 精度の良い鑄造体を作製するための方法を理解するために、模型材、ワックス、埋没材および歯科精密鑄造について学習する。

到達目標SBOs：

- 1) 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。
- 2) 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。
- 3) ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。
- 4) 鑄造用埋没材の種類、組成および性質について説明できる。
- 5) 歯科精密鑄造の原理と鑄造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
05月29日	1時限	総論-Ⅲ-2-キ 必修-6-ア-e 必修-6-イ-f 総論-Ⅳ-1-エ

担当者 加藤 治

テーマ： 神経の生理

授業の一般目標： 神経の機能を理解するために、神経の走行と分布を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) 神経伝達物質を列挙できる。
- 2) 自律神経の機能を説明できる。
- 3) 口腔感覚の神経走行を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
05月30日	1時限	必修-14-ア-d 必修-9-イ-a 総論-VI-5-ア 総論-VI-5-イ 総論-VI-5-ウ 総論-VI-5-エ 総論-VI-5-オ 総論-VI-5-カ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 炎症

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、炎症に関する病理学的知識について学習する。

到達目標 S B O s :

- 1) 炎症の5徴候と病理学的意義について説明できる。
- 2) 炎症の病因について述べることができる。
- 3) 急性炎症と慢性炎症の相違点について説明できる。
- 4) 炎症の病理組織学的分類(各型分類)と病態について解説できる。
- 5) 炎症性細胞の種類と機能について説明できる。
- 6) アレルギー、自己免疫疾患及び膠原病の分類と病理学的特徴について解説できる。
- 7) 代表的な口腔感染症及び口腔粘膜の皮膚科的疾患の病理学的特徴について述べることができる。

講義日 時限
06月01日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験 4

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月02日	1時限	総論-IV-5-ア 必修-6-ウ-c 必修-6-ウ-d 必修-6-エ-c

担当者 平塚 浩一

テーマ： 歯と歯周組織および唾液の構成成分

授業の一般目標： 口腔の機能を理解するために、歯と唾液および歯周組織のタンパク質の特徴を学ぶ。

到達目標 S B O s :

- 1) エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。
- 2) 象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。
- 3) 歯肉の代謝の特徴を説明できる。
- 4) 唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。
- 5) 唾液の消化酵素について説明できる。
- 6) 唾液の粘性と血液型判定について説明できる。
- 7) 唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。
- 8) 歯肉の抗菌因子を説明できる。
- 9) 血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月03日	1時限	総論-Ⅱ-1 1-ア 総論-Ⅱ-1 3-ア 総論-Ⅱ-1 3-イ 総論-Ⅱ-1 3-ウ 総論-Ⅱ-1 3-エ 総論-Ⅱ-1 3-オ 総論-Ⅱ-1 3-カ 総論-Ⅱ-1 3-キ

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防①

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。

到達目標 S B O s：

- 1) 感染症対策について説明できる。
- 2) 国民栄養と食品保健について説明できる。
- 3) 環境保健について説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月04日	1時限	総論-VI-6-オ 総論-VI-6-カ 総論-VI-6-キ

担当者 落合 智子

テーマ： 免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）

授業の一般目標： 免疫疾患を理解するために、免疫異常（免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患）に関する知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 免疫不全について説明できる。
- 2) アレルギーの種類、発症機序を説明できる。
- 3) 自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月05日	1時限	必修-15-ヒ-c 総論-X-9-イ 総論-X-9-ウ

担当者 松本 裕子

テーマ： 適用方法、薬物動態

授業の一般目標： 薬物療法を理解するために、適用方法、薬物動態に関する知識を習得する。

到達目標SBOs：

- 1)適用方法の種類と特徴を説明できる。
- 2)吸収，分布，代謝，排泄を説明できる。
- 3)生物学的半減期，生物学的利用能，治療薬物モニタリング（TDM）を説明できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月06日	1時限	必修-6-イ-f 必修-6-イ-e 総論-IV-1-ア 総論-IV-1-エ

担当者 松野 昌展

テーマ： 脳神経の通路

授業の一般目標： 脳神経の分布を理解するために、頭蓋骨の構造を説明できる。

到達目標SBOs：

- 1)頭蓋底の通路を説明できる。
- 2)翼口蓋窩の構造を説明できる。
- 3)上顎骨周囲の構造を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月08日	1時限	必修-1 4-ア-g 必修-9-イ-a 総論-VI-7-ア 総論-VI-7-イ 総論-VI-7-エ 総論-VI-7-オ 総論-VI-7-カ 総論-VI-7-キ

担当者 宇都宮 忠彦

テーマ： 腫瘍・嚢胞

授業の一般目標： 病因・病態を理解するために、腫瘍及び嚢胞の病理学的知識を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 腫瘍の定義について述べることができる。
- 2) 腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。
- 3) 腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。
- 4) 口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説できる。
- 5) 嚢胞の定義と分類について説明できる。
- 6) 嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。

=====

講義日	時限	国試出題基準
06月09日	1時限	必修-6-イ-a 総論-IV-2-カ 総論-V-6-ア

担当者 岡田 裕之

テーマ： 口腔粘膜および唾液腺の構造

授業の一般目標： 人体の構造を理解するために、口腔粘膜および唾液腺の構造を習得する。

到達目標 S B O s：

- 1) 口腔粘膜の構造を説明できる。
- 2) 口腔粘膜の機能的分類とそれぞれの特徴や該当部位を説明できる。
- 3) 唾液腺の構造を説明できる。
- 4) 唾液腺の種類、特徴および存在部位を説明できる。
- 5) 口腔粘膜および唾液腺の加齢変化を説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月10日	1時限	総論-Ⅱ-9-イ 総論-Ⅱ-10-ア 総論-Ⅱ-10-イ 総論-Ⅱ-10-ウ 総論-Ⅱ-10-ク 総論-Ⅱ-10-ケ 総論-Ⅱ-10-コ 総論-Ⅱ-10-サ

担当者 後藤田 宏也

テーマ： 健康管理・増進と予防②

授業の一般目標： 適切な健康管理を行うために、人口・保健統計および疫学とその応用について理解する。

到達目標SBOs：

- 1)人口統計について説明できる。
- 2)保健統計について説明できる。
- 3)疫学の概念について説明できる。
- 4)疫学・統計指標について説明できる。
- 5)歯科領域における統計指標について説明できる。
- 6)齲蝕の疫学要因について説明できる。
- 7)歯周病と不正咬合の疫学要因について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月11日	1時限	必修-15-マ-i 総論-XI-11-ア 総論-XI-11-イ 総論-XI-8-ア 総論-XI-2-エ

担当者 西山 典宏

テーマ： 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、レーザー、切削・研削・研磨用材料

授業の一般目標： 陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン、レーザー、切削・研削・研磨用材料について理解するために、それらの基本的性質について学習する。

到達目標SBOs：

- 1)歯科用セラミックスの種類、組成および性質について説明できる。
- 2)陶材と金属の接合について説明できる。
- 3)歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。
- 4)切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。
- 5)歯科用レーザーの種類および特徴について説明できる。

講義日	時限	国試出題基準
06月12日	1時限	総論-Ⅲ-1-イ 必修-6-ア-d 総論-Ⅲ-1-ウ

担当者 加藤 治

テーマ： 興奮性細胞の生理

授業の一般目標： 神経・筋の機能を理解するために，活動電位について学ぶ。

到達目標 S B O s：

- 1) 活動電位とイオン輸送の関係について説明できる。
- 2) 興奮の三原則を説明できる。
- 3) 心筋の興奮の特徴を説明できる。
- 4) 興奮収縮連関を説明できる。

=====

講義日	時限
06月15日	1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 平常試験 5・臨床演習 3

講義日 時限
06月29日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： 総合試験

講義日 時限
06月30日 1時限

担当者 平山 聡司

テーマ： (総合講義6ガイダンス)